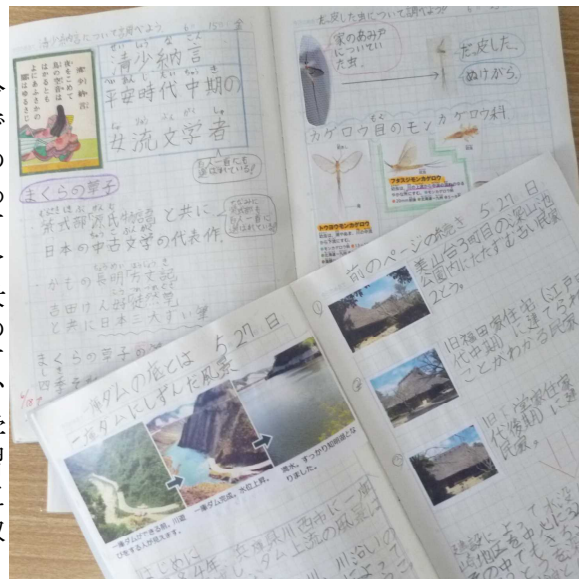
ささゆり学園　能勢小学校
ささゆり
第１６号
２月　15 日

自主学習

自主学習にがんばっている人達の紹介を朝会で行い、掲示板にも掲示しました。他の人達の見本になっています。





自分でめあてを決めて、学習に取り組むことは、とても大切です。漢字や計算のふりかえりだけでなく、様々なテーマで調べ学習をしている人達もいます。

五年生「落語ワークショップ」





能勢には、「語り」の伝統文化として浮瑠璃があります。同じ語りの伝統文化として、落語があげられます。

四日、浮るりシアターと連携して、五年生が落語のワークショップを行いました。講師は桂九雀さんです。

五年生は事前に九雀さんの落語をDVDで鑑賞。当日は、九雀さんから落語を語るときに大切なことについてアドバイスを受けた後、一人ずつ台本を分担され練習してきたセリフを九雀さんの前で紹介しました。三味線の合いの手も入れてもらいながら、最後のおちまでたどりつくことができました。

三年生「昔の道具」

六日、片山の中森さんに今年も昔の道具の紹介をしてもらいました。昔のくらし方に触れながら、生活に必要な物の紹介をしてもらいました。ご自身が作詞された「能勢街四季音頭」のレコードを蓄音機で聞かせてもらいました。



六年生「STOP THE 薬物」

四日、六年生が薬物乱用の怖さを知り、正しい知識を持つため「薬物乱用防止教室」を受けました。毎年六年生は、「薬物」の誘いを受けたらきっぱり断ること、ウソを言って体に悪いものをすすめるのは、本当の友だちではないことなどを学んでいます。



「あきらめない心」伊藤真波さんを招いて～人権集会



七日、全校人権集会で、北京、ロンドンパラリンピック競泳日本代表の伊藤真波さんのお話を聞きました。

子育ての中などでのたくさんの不安やこれまでの大変な出来事のお話もありましたが、伊藤さんの明るいトーンでのお話にあっという間の一時間となりました。

夢や希望にむかって”あきらめない”という強く前向きな思いがとても伝わるお話でした。家族など人とのつながりの大切さをあらためて考えることもでき、聞いている私たちが温かい気持ちになれました。最後のバイオリンの演奏には大きな感動の拍手がわきました。

二年生「いのちの学習」



一二七六座の方と二年生が、一三日「いのちの学習」を行いました。赤ちゃんはお母さんのお腹の中でどのように育っていくのかなど、お話や劇、クイズなどをいれながら伝えてもらいました。生まれてきたみんな（赤ちゃん）と産んだお母さんががんばり、祝福され、今、一人ひとりが大切な命をもっているというメッセージが伝わりました。最後の質問コーナーでは、学んだ「子宮」「赤ちゃんの通り道」「赤ちゃんの扉」といった言葉を使い、たくさんの質問が出ました。今後の生い立ちの学習につながります。

